

日本環境教育学会「地域環境教育活性化プロジェクト」および公害資料館ネットワーク

協働研究会

「新世代に聞く公害教育の魅力・着眼点」

公害が激甚だった1960年代、各地で公害教育が試みられました。しかしその実践は、必ずしも引き継がれず、公害教育が途切れてしまっている地域もあります。それが3.11以降、まったく新しく公害教育に取り組む若い世代が登場してきました。

今、公害教育に取り組む意義とは何か。新たに公害教育に取り組み始めた若い世代の教育者はなぜ公害教育に取り組もうと思ったのか、何に注目し、どのように公害教育を組み立てているのか？ 実践報告を受け、ポスト3.11の日本社会において公害教育の活性化のために議論します。

ぜひご参加ください。

日時：2016年11月12日（土）13：00～17：00

会場：(公財)早稲田奉仕園 アイビーハウス2階 <http://www.hoshien.or.jp/>

東京都新宿区西早稲田 2-3-1(東京メトロ東西線「早稲田」駅より徒歩5分)

参加対象：日本環境教育学会学会員および公害資料館ネットワーク関係者（セミクローズ）

報告：「3.11後の公害教育の取り組み～水俣病と原発事故の二つの社会科教育実践を通して～」

前嶋匠さん（茗溪学園中学校高等学校）

報告：「学校と社会をつなぐフィールドワーク～水俣に学んだ神奈川学園の中高生～(仮)」

小川輝光さん（神奈川学園）

担当委員：安藤聡彦（埼玉大学）、高田研（都留文科大学）、西村仁志（広島修道大学）

*資料準備等の都合上、参加ご希望の方は事前に下記、事務局までお申し込みください。

【申し込み・問い合わせ先】

公害資料館ネットワーク kougai.info

事務局：公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団）

担当：栗本知子、林美帆

E-mail=kurimoto@aozora.or.jp

TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟 1-1-1 あおぞらビル4階